

2009年度

科目名	書道A		
担当教員	永田 誠		
配当	日文2	コード	53340
開期	前期	講時	金曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	中国の書道史を学習すると同時に名筆を鑑賞し、各書体を実技演習する。		
目的と概要	中国書道史の概要を知り、篆書・隸書・楷書・行書・草書の名筆を鑑賞すると同時に臨書する。且つ、これを通じ書体の変遷と書の真の美しさを体得し、より高度な表現と鑑賞の能力を高め、書の理論や伝統を理解する。又、書芸術を味わう喜びと社会的意義を感じし一生涯書を愛好する心情を育成する。		
成績評価法	毎時提出する清書作品を評価、期末には変体仮名のテストを実施・作品鑑賞レポート・小テスト・授業態度・出席も重視し評価に加味する。3回以上欠席した場合は、単位の取得を認めない。(遅刻3回を欠席1回とみなす。)		
テキスト	毎時、プリント配布		
参考書	必要に応じて紹介する		
履修に当たっての注意・助言	実技教科であるため、自宅での繰り返し練習を望む		
講義計画			
第1回	オリエンテーション 学習の概要と説明(文房四宝[筆・墨・等々必要な用具])について		
第2回	太古・三代時代(紀元前1700-400年頃)の文字 …… 亀甲獣骨文字を書く		
第3回	同上	…… 大孟鼎(だいうてい)を書く	
第4回	同上	…… 石鼓文(せっこぶん)を書く	
第5回	秦時代(前246-207)の文字 …… 泰山刻石を書く		
第6回	前漢時代(前206-)の文字 …… 木簡を書く		
第7回	後漢時代(紀元25-220)の文字 …… 礼器碑を書く		
第8回	三国・西晋時代(221-316)の文字 …… 宣示表(鍾よう)を書く		
第9回	六朝時代(265-580)の文字 …… 南朝の王羲之蘭亭序を書く		
第10回	同上	…… 北朝の牛けつ造像記を書く	
第11回	隋時代(581-617)の文字 …… 真草千字文(智永)を書く		
第12回	唐時代(618-907)の文字 …… 孔子廟堂碑(虞世南)を書く		
第13回	同上	…… 九成宮醴泉銘(欧陽詢)を書く	
第14回	同上	…… 雁塔聖教序(ちよ遂良)を書く	
第15回	中国五代および宋(908-1280)以後の時代については、資料を参考にして話し合い、まとめる。		